

カリキュラム 区分		授業 科目	ジェンダー論 Gender Studies			担当 教員	中村 彰 (非常勤)
開講年次	3年次前期	単位数	2単位	科目 分類	看護学の基盤となる科目 I	授業形態	講義
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室	
授業の目的及びねらい		1999年6月に成立した「男女共同参画社会基本法」がめざす社会システムを検証し、仕事の場や家庭、地域で、私たち男女がフェアで対等に生きるとは何かを説明します。日本における女性運動、男性運動のあゆみにもふれ、先人たちの心根を学びます。セクシャル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス、過労死、中高年の自殺など、そのときどきの社会問題を男女共同参画の視点で読み解きます。					
授業のキーワード		ジェンダー、性別役割分業、男女共同参画、生きがい					
講義回数	授業内容及び計画						
第1回	ジェンダーと男女共同参画社会						
第2回	日常に潜むジェンダー・バイアス						
第3回	女子差別撤廃条約と男女共同参画社会基本法						
第4回	ドメスティック・バイオレンス						
第5回	セクシャル・ハラスメント						
第6回	恋愛・性をめぐるジェンダー						
第7回	多様な性を考える一性自認・性指向・インターセックス						
第8回	メディア・リテラシー						
第9回	教育とジェンダー						
第10回	仕事社会がもたらしたもの						
第11回	高齢社会とジェンダー						
第12回	育児支援とジェンダー						
第13回	福祉・医療現場とジェンダー						
第14回	ジェンダーからみた障害者問題						
第15回	ジェンダー施策は男性を元気にする						
ビデオを使用します。							
テキスト	中村彰『男性の「生き方」再考 ―メンズリブからの提唱』世界思想社 2005 日本DV防止・情報センター編『デートDVってなに? Q&A』解放出版社 2007 プリント						
参考文献	坂東真理子『男女共同参画社会へ』勁草書房 2004						
成績評価の方法と基準	授業中に書く小レポート(30%、従って出席重視) 学期末レポート(70%)						
教員から学生へのメッセージ	男女共同参画社会を理解し、自分の中に潜むジェンダー・バイアスに気づく場を提供します。						